

家の光

8月号の主な内容

定価 617円 (税込み)



《特集》

語り継ごう 女たちの戦争

太平洋戦争の体験者の言葉を直接聞く機会が少なくなっています。夫や子どもたちが戦地に赴き、銃後の守りをするようになった女性たち。その過酷な体験を振り返りながら、平和の尊さについて考えます。また、広島県廿日市市にあるJA広島総合病院に残された被爆者のカルテから、当時の記録をレポートする予定です。

「お米のミルク」で作ろう！元気ドリンク

お米だけを原料に、独特のやさしい甘さのライスミルク「全農 お米のミルク プレーン」と夏野菜で夏バテ解消ドリンクを紹介します

《生活文化活動の応援企画》

すり鉢ひとつで、お手軽おかず

どこの家庭にもある「すりばち」は“する”“つぶす”“たたく”“おろす”“和える”ができて、そのまま器にもなる優れた調理道具です。そこで、すり鉢ひとつで手軽にできる夏の簡単おかずやサラダや、冷汁などを紹介します。

《地域情報版》

魅惑の熱帯果樹

熱帯果樹の生産は沖縄や奄美地方で盛んですが、日本各地でも熱帯果樹生産に取り組む事例が増えています。アボカド、スターフルーツ、ドラゴンフルーツなど、熱帯果樹栽培に挑戦する人々を紹介します。



定価 606円 (税込み)

《農業・農政の動きを読み解く企画》

特集

農業は気候変動にどう対応するのか？

地球温暖化が進んでいるのか、最近、産地での作物の高温障害による不作が広がっています。産地を維持するには品種の改良や高温対策などによる工夫が必要であるとともに、新しい製品の導入も選択肢となってきます。こうした気候変動に農業現場はどのように対応していけばよいのか、識者や現場の取り組みから考えます。

リーダーになろうぜ

LINEスタンプ「地上マンとゆかいな仲間たち」も好評発売中！



ちゃぐりん

定価 483円 (税込み)

味覚の教室へようこそ

味の基本となる「塩見」「酸味」「苦み」「甘み」と「うまみ」を合わせた五つの味覚について実験しながら、五感のたいせつさについて考えます。「うまみ」は、昆布だし、煮干しなど、だしの味を比較してみるなどして、食や食材への関心も高めます。

《別冊付録企画》

田んぼとお米 八十八のへえ〜ブック

日本農業の根幹である水田やお米、成長に欠かせないごはんの大切さに気づいてもらうため、「88個のへえ〜情報」を掲載します。「田んぼの生き物調査・おもしろ！シールブック」は子どもたちが楽しく学べるアイテムになっています。